

平成28年度取組状況

ものづくり工学科 電気電子工学コース

准教授

宮田 尚起

取組状況	
教育	<p>1. 電磁気の授業にて授業アンケートを実施 2年、3年における電磁気学の授業にて、授業毎で授業内容の理解度を確認するアンケートを実施した。定期試験前にアンケートを返却し、学生が自身の学習の経過を確認できるようになった。</p> <p>2. 電磁気の授業にて少人数授業を実施 2年電磁気IIにて40人クラスを20人ずつに分け、1クラス20人の少人数授業を実施した。</p> <p>3. 電磁気の授業にて、定期試験の模範解答作成の課題を実施 定期試験終了後、直ちに定期試験の模範解答を学生自らに作成させた。これにより、学習内容に対する自己の理解の不足部分を自覚し、さらにより深く理解するための動機づけとなった。</p> <p>4. 4年実験実習の指導書を作成 新カリキュラム移行に伴う実験実習指導書の改訂として、2つのテーマの内容改善と指導書改訂を担当した。</p>
研究	<p>1. 学術論文 ・Koichi Nomura, Shigeru Aoki, Katsumi Kurita, Naoki Miyata "Damping Performance Evaluation Eddy Current Damper," Information, Vol.19, No.6(B) pp.2341-2348, 2016, Jun.</p> <p>2. 紀要への投稿 ・宮田尚起, 葛西陽介, "円柱導体による散乱現象を用いた同相写像FDTD法の検証" 東京都立産業技術高等専門学校研究紀要第11号, pp.45-58, 2017年3月</p> <p>3. 国内学会発表 ・鈴木克, 宮田尚起 "ブロードサイド結合させた三角形共振器の結合係数" 第31回エレクトロニクス実装学会春季講演大会 講演大会論文集pp.166-167 2017年3月 ・秋山祐也, 宮田尚起, 吉田政弘, 栗田勝実 "クリープの観測に向けた簡易な地上設置型合成開口レーダの開発" 平成28年度電子情報通信学会東京支部学生会研究発表会 講演論文集p.118 2017年3月 ・荒井 和輝, 宮田 尚起 "ステップ構造を有するリング形デュアルモード共振器を用いた有極型フィルタに関する基礎検討" 電子情報通信学会マイクロ波研究会 信学技報MT2016-155 Vol.116, No.363, pp.129-134 2016年12月</p>
社会貢献	<p>1. 八潮学園ものづくり教室 第5学年、題名「リニアモーターの原理を知ろう」 2017年3月実施</p>